

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	練馬区立こども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和6年12月9日		～ 令和6年12月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間	令和7年4月2日		～ 令和7年4月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月9日		～ 令和6年12月23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	57	(回答者数) 53
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者と電話や面談で、お子さんの情報共有を行い、相談に丁寧に対応することができている。	・訪問先と連携をとり情報共有を行い、必要な場面で提案をし、一緒によい方法を考えている。	・部署内での事例検討での時間を増やしていく。
2	・様々な職種がそれぞれの専門性を活かした支援を行うことができている。	・ご家庭や療育先でお子さんの様子を聞きながら、ヒントにしてそれを支援の工夫につなげている。	・引き続き研修会に参加し、実践で取り入れていく。
3	・相談支援事業所や療育先等の関係機関との連携を取り、定期的に情報共有を行っている。	・部署内でケースの共有を行い、話し合いをしながら関わりの方法を探っている。	・関係機関との連携をさらに深めて、良い方法を検討していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援の利用者が増えており、支援員の配置不足で利用開始をお待ちいただいている。	・丁寧な良い支援を行っていくためには、人員の補強が必要である。	・支援員の人員確保を行いながら、支援の質を向上し、ニーズに応じていけるようにする。
2	・保護者とのやり取りが電話か手紙のため、タイムラグが生じてしまうことがある。	・訪問に時間を要するため、事務所での文章作成等の仕事をすする時間が限られている。	・事務時間や電話時間を工夫して、引き続き良い支援を行ってきたい。